

2009年度活動総括および2010年度方針

NPO法人・日本ソーシャルワーカー協会会長 鈴木五郎

* 2009年度総括、2010年度の方針を一括で提案する。

- 1、21年度は、香川総会で役員改選が行われた。新たに「歴史研究委員会」(喜多祐荘委員長)を設置し、我が国の社会福祉実践の歴史を受け継ぐ活動を展開することにした。22年9月の社会福祉公開セミナーは歴史研究委員会の企画運営とする。
- 2、沖縄県SW協会が「ソーシャルワーカー初級講習会」を開催し、専門職に加えて、民生委員や市民層を対象を拡大して実施され、大きな成果をあげている。
- 3、沖縄の講習会を契機として、改めて青森県協会や栃木県協会の活動などを踏まえて、本協会のソーシャルワーカーの概念が検討され、NPO法人としての特性、目的にてらして、社会福祉士など専門職に限定せず、市民層まで拡大してとらえる方向で、討議が深められている。
- 4、また、本協会の活動目標を法人の定款にてらして、ソーシャルワーカーの活動を社会に広め、理解を深める活動に基本をおくことを再確認した。
- 5、21年度は、歴史のある福島県、愛知県、徳島県支部が、会員の高齢化、活動の停滞を背景に解散になった。一方で、活動を活発化する都道府県協会もあり、二極分化をしている。
- 6、一方で、本部活動は、大阪・東京の公開セミナーの開催、会報やホームページの充実、提言委員会の活動、事務局活動の充実などを背景に新規会員が増加する傾向に転じ、明るい兆しも見えてきている。
- 7、社会福祉専門職団体(社専協)、ソーシャルケア協議会、など対外活動については、これまでどおり参加してきたが、22年度は社専協の国際委員会への委員参加が困難になった。
- 8、2011年度は、我が国で『アジア・太平洋国際会議』、7月14日から18日、都内、開催がきまった。本協会も活動資金の醸成に最大限参加することになっている。

